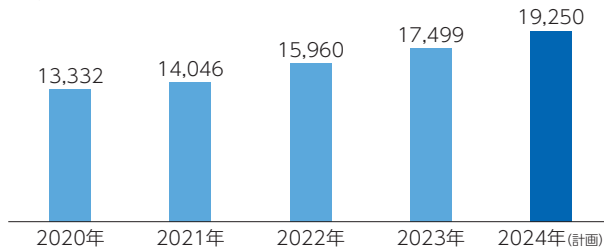
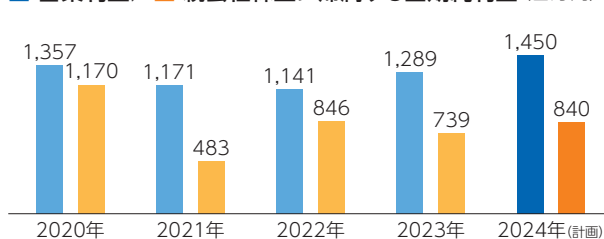


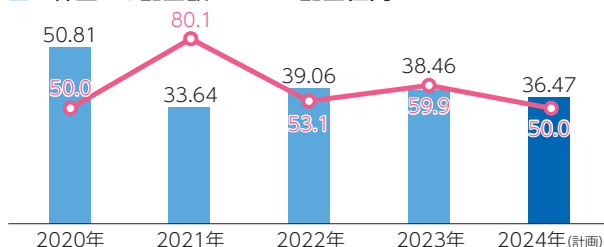
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■ 1株当たり配当額 (円) ○ 配当性向 (%)



会社概要 (2023年12月31日現在)

社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社  
GMO GlobalSign Holdings K.K.  
創立 1993年12月  
代表取締役 青山 満  
資本金 9億1,690万円  
決算月 12月  
従業員数 999名 (単体: 370名)  
本社所在地 〒150-8512  
東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー  
TEL 03-6415-6100(代表)

GMOグローバルサイン・ホールディングス ir 検索

<https://www.gmogshd.com/ir/>



株主各位

東京都渋谷区桜丘町26番1号  
GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社  
代表取締役 青山 満

第31回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、2024年3月19日開催の当社第31回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

報告事項

- 第31期(2023年1月1日から2023年12月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第31期(2023年1月1日から2023年12月31日まで) 計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件  
本件は、原案のとおり、承認可決されました。  
期末配当は、普通株式1株につき38円46銭となります。

第2号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件  
本件は、原案のとおり、青山満氏、熊谷正寿氏、中條一郎氏、池谷進氏、安田昌史氏及び秋山ゆかり氏の6名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案

監査等委員である取締役3名選任の件  
本件は、原案のとおり、中嶋昭彦氏、水上洋氏及び岡田雅史氏の3名が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

期末配当金のお支払いについて

第31期期末配当金のお支払いについては、同封の「第31期期末配当金領収証」により、払い渡しの期間(2024年3月25日から2024年4月30日まで)内に、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「配当金の振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「第31期期末配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や、確定申告の資料としてご利用いただけます。

GMOグローバルサイン・HD  
GlobalSign  
PRESS

株主の皆様へ

注力事業のさらなる拡大に取り組み  
引き続き中長期的な企業成長を図る

当社へのご支援いつも誠にありがとうございます。

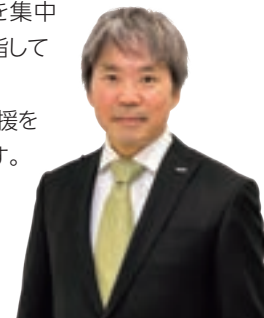
当社グループは“コトをITで変えていく。”という理念のもと、あらゆる人に新たな体験価値を、ITサービスを通じて提供し、グループ一丸となってシナジーを生み出し、日本初・世界初の「はじめて」を追い求めるべく、様々なITサービスを展開しております。

2023年度は、当社グループの成長・収益基盤の柱である「GlobalSign」ブランドの電子証明書発行サービスがアジア地域を中心に堅調に伸びました。また、注力商材として位置づけている電子契約サービスも順調に拡大しており、引き続き中長期的な成長を図るべく戦略的投資を実施してまいりました。さらに、DXの進展や多様な働き方の広まりに伴いクラウド利用が拡大したことにより、シングルサインオンサービス「GMOトラスト・ログイン」やマネージドクラウドサービスの販売も好調に伸びました。

2024年度においても、引き続き電子認証・印鑑事業を中心とした認証サービスを事業戦略の柱とし、電子印鑑GMOサインへ経営資源を集中することで、さらなる事業拡大を目指してまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を  
いただけますようお願い申し上げます。

代表取締役  
青山 満



# コトをITで変えていく。 - なくてはならない企業へ -

2022年12月期から2026年12月期までの5カ年を長期的な企業価値向上のための土台構築期といたしました。当社の事業領域である「電子認証・印鑑事業」「クラウドインフラ事業」「DX事業」をそれぞれ「重点成長分野」「持続成長分野」「次期成長分野」と位置づけ、提供サービスと体制基盤の強化を図ってまいります。

詳細はこちらからご覧いただけます



<https://www.gmogshd.com/ir/policy/plan/index.html>

## 電子認証・印鑑事業 重点成長分野

国内シェアNo.1のSSLを中心とした各種電子認証サービスを提供



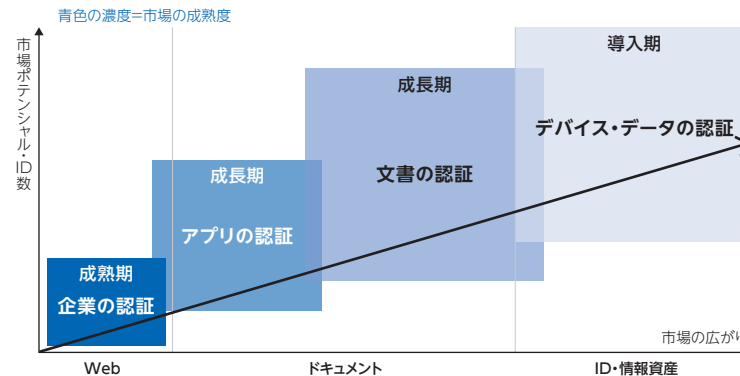
### 積極的売上拡大と収益性改善

圧倒的No.1のストックサービスへの基盤固めとグローバル拠点の継続的な成長実現を目指すべく、経営資源を集中し成長循環の活性化に取り組んでまいります。

### 成長戦略

#### 電子認証局の技術・ノウハウを軸に電子認証・電子署名市場において事業拡大を目指す

本事業は当社の重点成長分野であり、経営資源を集中させております。認証技術を活かして、企業の認証を代表するSSLサーバー証明書を中心に、安定的な成長を図りながら文書の認証・署名サービスを成長させることでさらなる事業拡大を目指してまいります。



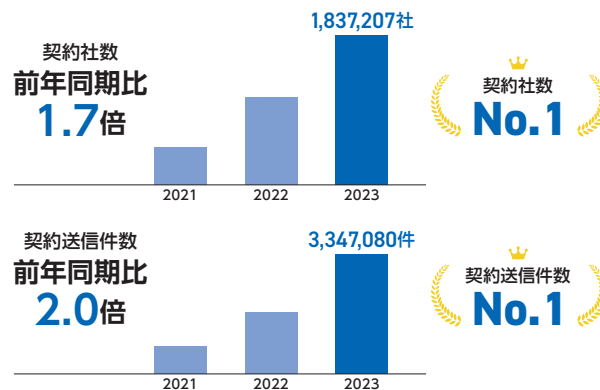
### 文書の認証 導入事例

#### 学修歴証明書の発行をグローバルで展開



国内で証明書自動発行機を提供する大手2社が当社サービスを導入し、学修歴証明書の電子提供サービスをリリースすることが決定いたしました。

### GMOサインの契約社数・契約送信件数で2冠



## クラウドインフラ事業

クラウドフルの拡大に注力し、クラウドインフラ事業の成長を牽引してまいります。

### 組織体制強化

### サービス強化



セキュリティ商材による差別化  
カスタマーサクセス強化

## DX事業

- 業界特化により販促アプリプラットフォームとして深化
- 販促 × 他業種システムによる横展開で新たなサービスを創出

